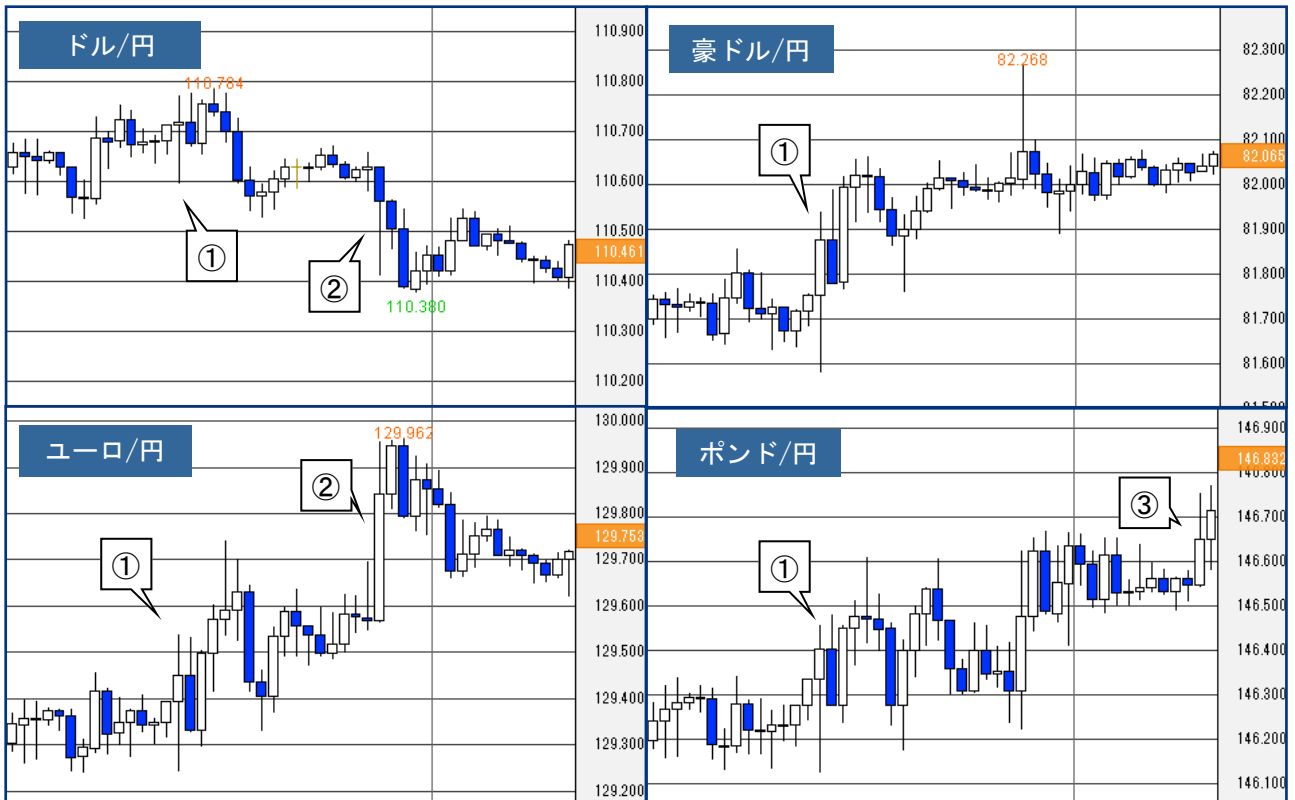


7月9日(月曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

ドル/円、110円台前半にサポート密集

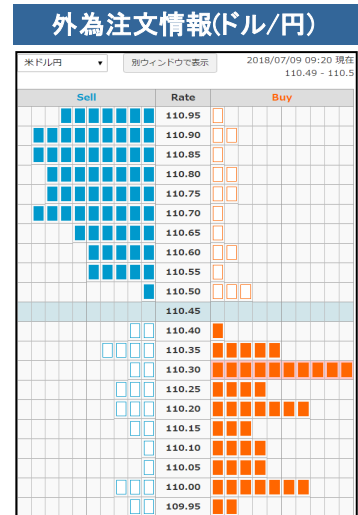
6日(金)の為替相場



期間：6日(金)午前6時10分～7日(土)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 米東部時間24時01分(日本時間13時01分)をもって、米国の対中関税第1弾(340億ドルの中国製品輸入に25%の関税を賦課)が発動された。中国も報復関税を発動したが、いずれも織り込み済みとの見方から市場の反応は限られた。
- ② 米6月雇用統計は、非農業部門雇用者数が21.3万人増と予想(19.5万人増)より強かった一方、失業率は4.0%となり、前月に記録した2000年4月以来の低水準の3.8%で横ばいの予想に反して上昇した。また、平均時給は前月比+0.2%、前年比+2.7%と、いずれも伸び率が予想(+0.3%、+2.8%)に届かなかった。失業率の上昇については、労働参加率が62.9%に上昇(前回62.7%)しており、職探しを再開した人が増えたためと見られ、悪材料視される事はなかったが、賃金の伸びが予想を下回った事から米長期金利が低下。ドルにも下落圧力がかかり、ドル/円が下落した一方、ユーロ/円はユーロ/ドルの上昇に引っ張られて上伸した。なお、同時刻に発表された米5月貿易収支は431億ドルの赤字となり、赤字額は小幅に予想(436億ドル)を下回った。なお、赤字額は1年7か月ぶりの少なさだった。ただ、対中赤字は331億ドルあまりに膨らみ、前月から18.7%増加した。
- ③ 英国のメイ首相は、欧州連合(EU)離脱=Brexitの方針をめぐり対立していた閣僚らを説得。「モノの自由貿易圏」の創設をEU側に求め、貿易面での緊密なつながりを維持するという、「穏健な離脱(Soft Brexit)」の方針に合意を取り付けた。この報道が伝わると、ポンド買いが強まった。

6日(金)の株・債券・商品市場				
日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
21788.14	6272.291	2747.229	7617.70	12496.17
△241.15	△56.772	△13.347	△14.48	△31.88
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
24456.48	0.0330%	2.624%	1.267%	0.292%
△99.74	▼0.0050	△0.030	△0.009	▼0.007
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.5365%	2.8217%	73.80	1255.80	
▼0.0141	▼0.0073	△0.86	▼3.00	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	110.100-110.800	129.100-130.300	81.700-82.500	146.000-147.600

【ドル/円】

前週末6日のドル/円は、小幅安で取引を終えた。米国の対中関税発動後も110.50円台で下げ渋るなど底堅く推移していたが、米6月雇用統計を受けて110.30円台へと弱含んだ。米6月雇用統計はそれほど弱い内容ではなかったが、貿易戦争への懸念も相まって調整的なドル売りが出やすかったと見られる。

本日のドル/円は、調整の名残で上値は重いながらも、110円台前半では底堅く推移しそうだ。手掛り材料に乏しい中、突発的な売り材料がなければ並み居る下値支持線をまとめて下抜けるのは難しいだろう。なお、110円台前半には、1)日足一目均衡表転換線(110.41円前後)、2)20日移動平均線(110.38円前後)、3)先週安値(110.28円前後)、4)日足一目均衡表基準線(110.17円前後)、5)200日移動平均線(110.14円前後)などが並んでいる。

執筆者: 神田

本日の注目イベント ※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
7/9(月)	15:00		(独) 5月貿易収支	+201億ユーロ	+202億ユーロ
	15:00		(独) 5月経常収支	+227億ユーロ	+198億ユーロ
	16:50		(英) ブロードベントBOE副総裁、講演	—	—
	20:00		(ユーロ圏) ノボトニー・オーストリア中銀総裁、講演	—	—
	22:00	○	(ユーロ圏) ドラギECB総裁、講演	—	—
	28:00		(米) 5月消費者信用残高(前月比)	+92.62億ドル	+120.00億ドル

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com